

「令和の日本型学校教育」の実現に向けて

- ◇ R3年答申 授業観・学習観の転換
 - 個別最適な学びと、協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ◇ R4年答申 研修観の転換
 - 新たな教師の学びの姿
「主体的な姿勢」「継続的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」
 - 教師の学びの姿も、子供の学びの相似形
 - 子供にとってのロールモデル

学びの可視化と目標設定

教職員としての「現在の姿」を
振り返り、「将来の姿」をイメージしよう

学びの成果
を可視化・
共有化

現状把握と
適切な
目標設定

研修履歴の記録

新たな研修制度に向けた法改正等

- ◇ R4 教育公務員特例法及び教員免許法の一部を改正する法律
 - 教員免許更新制発展的解消
 - 研修履歴の記録作成
 - 資質向上に関する指導助言
- ◇ R4 公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正

たゆまぬ自己改革

自らの資質能力を高めよう

- A 教育的素養
- B 授業を創る力
- C 子供と関わる力
- D 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- E ICTや情報・教育データの利活用
- F よりよい教育を進め、高める力

教員育成指標の活用

目的をもった研修受講

自分なりの気づきや変化を得よう

- 新しい知識やスキルの獲得
- 実践の価値付けや捉え直し
- 自己の在り方について深める

学びの機会の充実

管理職との対話

学びの方向性を定めよう

- 自身の強み、弱み
- 今後伸ばすべき力
- 学校で果たすべき役割
- 学校を支える力

対話に基づく受講奨励

